

神戸市外国語大学魅力発信事業

# 公開講演会

神戸発！

## ——音・声・ことば 新たなつながりを求めて——

2021年、旅にでよう、歌いながら、語りながら！

新型コロナウイルス感染拡大によって学びや集いの場が制限されるようになりましたが、わたしたちには共に集い、共に生きる社会が必要です。2021年度の魅力発信事業では、人間のコミュニケーション能力の根源をさぐりながら、新しい共生の形を考えます。第1部では、7月3日より本学共催で開催される「ジャック・ケルアック『オン・ザ・ロード』とビート・ジェネレーション—書物からみるカウンターカルチャーの系譜」展（BBプラザ美術館・神戸市灘区）に併せ、旅と音楽そして物語の世界へ、第2部では古の「顔なき声」に耳を澄まし、宮沢賢治生誕125年を祝して賢治の物語世界へ誘います。

オンライン  
実施

全6回  
For Free

事前申込制・各回ごとに参加いただけます。

### 第1部 わたしたちの「オン・ザ・ロード」 — 旅から生まれるストーリー —

1 「音楽が世界を結ぶ：旅する北欧・バルトの夏至」  
小巖仰（Harmony Fields 北欧音楽プロデューサー）  
6月26日（土曜）14：00～15：30

2 「ビート・ジェネレーション  
— 書物から見るカウンター・カルチャーの系譜 —」  
山路和広（Flying Books 店主 アーキビスト）  
7月4日（日曜）14：00～15：30

3 「旅する物語 — 対話することばと絵 —」  
柴田元幸（翻訳家・本学客員教授）  
きたむらさとし（絵本作家・本学客員教授）  
7月18日（日曜）14：00～15：30

4 詩人たちによるビートへのオマージュ  
「ポエトリー・リーディング  
Session vol.1 : Beat Goes On East & West」  
8月1日（日曜）14：00～15：30

### 第2部 「イーハトーブ」をここに — 古から未来へのメッセージ — 後援：岩手日報社

1 「顔なき声のうた—生命の響きに耳をすまして—」  
Kawole（歌手）  
10月30日（土曜）14：00～15：30

2 「イーハトーブをここに  
— 宮沢賢治生誕125年記念講演 —」  
宮澤和樹・やよい・香帆  
11月22日（月曜）14：25～15：55

お申込みはこちら▶

<https://forms.gle/v6qp82QEPRlhMma5A>



主催：神戸市外国語大学 後援：神戸市  
問い合わせ：神戸市外国語大学 英米学科 教授 難波江仁美

[kobe.miryoku@gmail.com](mailto:kobe.miryoku@gmail.com)

＜神戸市外国語大学魅力発信事業とは＞

公立大学法人としての幅広い教育・社会貢献活動の一つであり、知と文化を発信する本学の重要な取り組みです。活動資金としての寄付も広く募っております。

詳しくは HP をご覧ください。 <https://www.kobe-cufs.ac.jp/about/miryoku.html>

# 第1部 わたしたちの「オン・ザ・ロード」 — 旅から生まれるストーリー —

## 小巖仰

「音楽が世界を結ぶ：

旅する北欧・バルトの夏至」

6月26日(土曜) 14:00-15:30



Harmony Fields 取締役。音楽プロデューサー。静岡の総合商社勤務を経て、奈良の食品開発メーカーで管理職に。仕入先のスウェーデンで北欧音楽と出会い2000年に念願の北欧音楽を中心とした制作事務所 Harmony Fields を設立。北欧を含めた20カ国以上、100回以上の世界の音楽家の来日公演に携わる。コロナ禍でもオンラインを介して北欧関連の様々なイベントや講演を行う。

後援：デンマーク大使館 スウェーデン大使館 ノルウェー大使館 フィンランド大使館  
駐日エストニア共和国大使館 駐日ラトビア共和国大使館 駐日リトアニア共和国大使館(順不同)

## 柴田元幸 × きたむらさとし

「旅する物語 - 対話することばと絵 -」

7月18日(日曜) 14:00-15:30



### 柴田元幸

翻訳家。『アメリカン・ナルシス』でサントリー学芸賞、トマス・ピンチョン著『メイスン&ディクソン』(新潮社)で日本翻訳文化賞受賞、早稲田大学坪内逍遙賞受賞。現代アメリカ文学を中心に翻訳多数。近著に『英文精読教室』全6巻(研究社)。文芸誌「MONKEY」および英語文芸誌「MONKEY」の責任編集。神戸市外国語大学客員教授。

### きたむらさとし

絵本作家。広告・雑誌関係の仕事の後、1979年に渡英。新人絵本イラストレーターに贈られるマザーグース賞受賞。2018年神戸に移住。『ミリーのすてきなぼうし』は神戸市小学校2年の教科書に採用。近著に『The Smile Shop』(日本語版岩波書店)文芸誌「MONKEY」に初の漫画「The Heart of the Lunch Box」掲載。神戸市外国語大学客員教授。

## 山路和広

「ビート・ジェネレーション

— 書物から見るカウンター・カルチャーの系譜 —

7月4日(日曜) 14:00-15:30



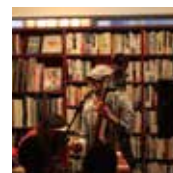
Flying Booksオーナー、アーキビスト。音楽バイヤー、ブックフェスのスタッフ等を経て、東京・渋谷にカフェ&イベント・スペースを兼ね備えたFlying Booksをオープン。ヒップホップを中心とした音楽と詩集の出版レーベルも主宰。古書の選書・コーディネート、イベント制作を軸に、国内外で幅広い活動を繰り広げている。ビート詩人、ゲラリー・スナイダー来日公演に参画して以来、スナイダーとの親交があり、谷川俊太郎氏との朗読・対談イベントなどもプロデュースした。

## 詩人たちによるビートへのオマージュ

「ポエトリー・リーディング

Session vol.1: Beat Goes On East & West」

8月1日(日曜) 14:00-15:30



制作・司会：山路和広

ケルアックらビート・ジェネレーションの詩人たちが繰り返してきた「ポエトリー・リーディング」を、神戸と東京をオンラインでつないでいきます。普段は目で読むことが多い詩=ポエトリーを音として、耳から楽しむ実験的な試み。神戸会場は神戸市外国語大学から。「ジャック・ケルアック『オン・ザ・ロード』とビート・ジェネレーション」展監修のマシュー・セアドー本学英米学科教授、コントラバス弾き語りでラップを披露するタカツキをはじめ、学生の参加募集も行います(※)。東京会場は、ビート詩人、ゲラリー・スナイダーやナナオサカキらがポエトリー・リーディングを行ったFlying Booksから、ビート詩人たちとも交流のある詩人さいとういんこ、新納新之助らが登場、ビートへのオマージュを捧げます。

(※出演条件：神戸市外国語大学の学生。言語は問わず、一人5分以内の自作の詩のみ。募集人数：若干名。先着順。)

# 第2部 「イーハトーブ」をここに — 古から未来へのメッセージ —

後援：岩手日報社

## Kawole (カオル)

「顔なき声のうた

— 生命の響きに耳をすまして —

10月30日(土曜) 14:00-15:30



南米諸国の歌、にほんごのうたプロジェクト、朗読音楽会や声の瞑想会の開催など「ことばと声」をテーマに活動。南米のルーツ・ミュージックを求めてペルー、ボリビア、アルゼンチンを旅し、先住民音楽家と交流。北部アルゼンチンの先住民民族のドラム、カーハを学び、国内唯一のカント・コン・カーハ(カーハと歌う歌い手)。現在は「顔なき声」をテーマに生まれ故郷、奈良の民俗歌謡とカーハの歌に取り組む。宮澤賢治朗読会主催、宮澤賢治朗読&音楽CD制作中。

## 宮澤和樹・やよい・香帆

「イーハトーブをここに

— 宮沢賢治生誕125年記念講演 —

11月22日(月曜) 14:25-15:55



岩手県花巻市に生まれる。立正大学卒業、大英博物館勤務を経て帰国。郷里花巻に「林風舎」を開業。祖父は賢治の弟清六氏。父は花巻市にある宮澤賢治記念館前館長の雄造氏。祖父清六さんが戦災を守りぬぎ世に送り出した賢治作品の多くをそのまま守るために「林風舎」を設立。著作に『わたしの宮沢賢治 祖父・清六と「賢治さん」』(ソレイユ出版2021)、『宮沢賢治 魂の言葉』(ロング新書2011)。宮澤やよい氏(妻)、香帆氏(長女)とともに賢治についての講演を行っている。

神戸市外国語大学魅力発信事業

「神戸発! 音・声・ことば - 新たなつながりを求めて -」

お申込みはこちらから▶

<https://forms.gle/v6qp82QEPRHmMma5A>

オンライン開催。事前申込制・各回ごとにご参加いただけます。

